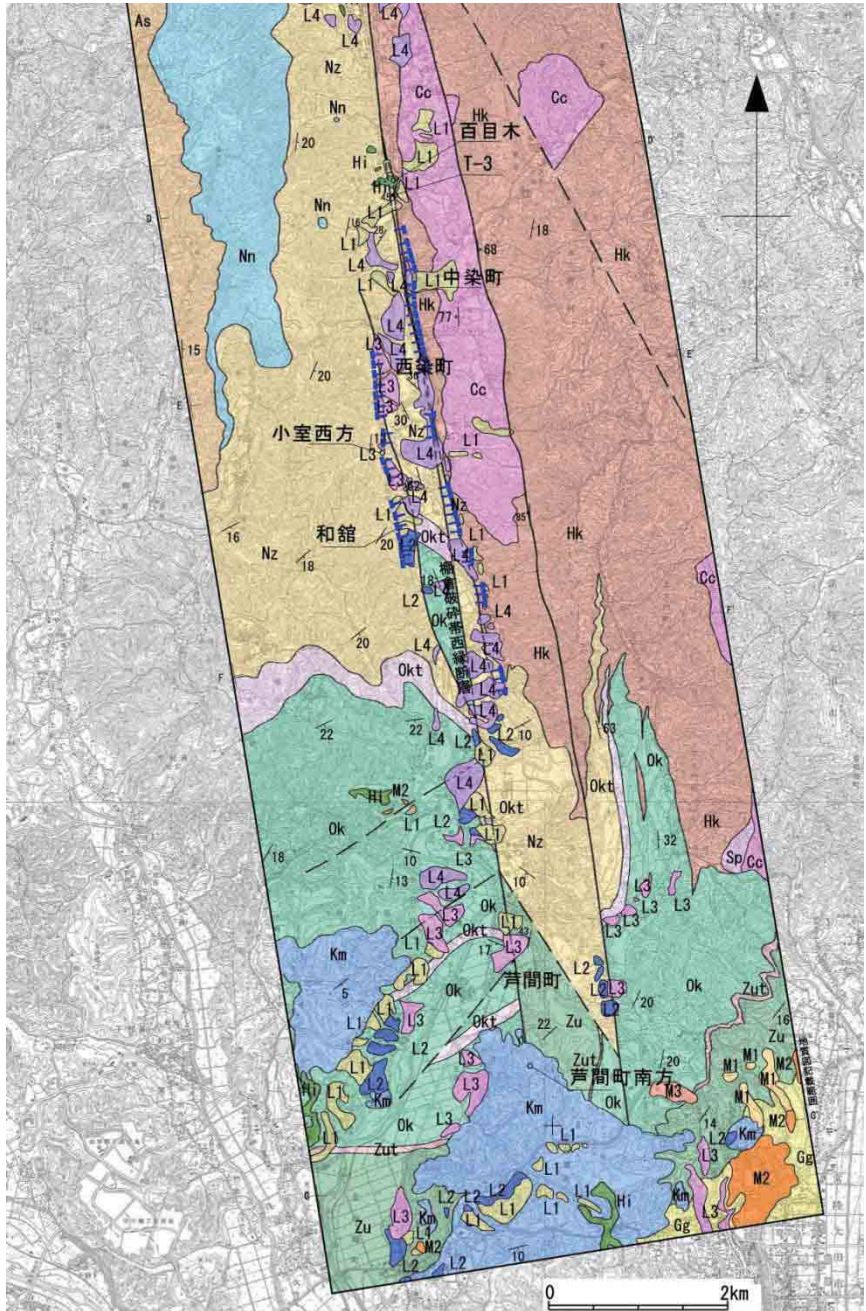


地質平面図 (南部)



凡例

記号	地層名	主な層相
L4	L4段丘堆積物	礫・砂
L3	L3段丘堆積物	礫・砂
L2	L2段丘堆積物	礫・砂
L1	L1段丘堆積物	礫・砂
M3	M3段丘堆積物	礫・砂
M2	M2段丘堆積物	礫・砂
M1	M1段丘堆積物	礫・砂
Hi	東茨城層群	砂・礫・シルト
Km	久米層	砂質泥岩
Hk	東金砂山層	砂岩・泥岩・礫岩
Gg	源氏川層	礫岩・砂岩
Ko	小生瀨層	Zut 凝灰岩
Zu	瑞竜層	Ok 凝灰岩
Ok	大門層	金砂
Na	苗代田層	郷層群
Nz	西染層	砂岩・砂岩泥岩互層・泥岩・礫岩・火山岩・凝灰岩
Nn	男体山火山角礫岩	
As	浅川層	
Cc	カタクラサイト(花崗岩起源)	
Sp	蛇紋岩	

地層境界	———
層理面	———
断層	(実在) (推定) (伏在)
地層の走向傾斜	40°
断層の走向傾斜	40°

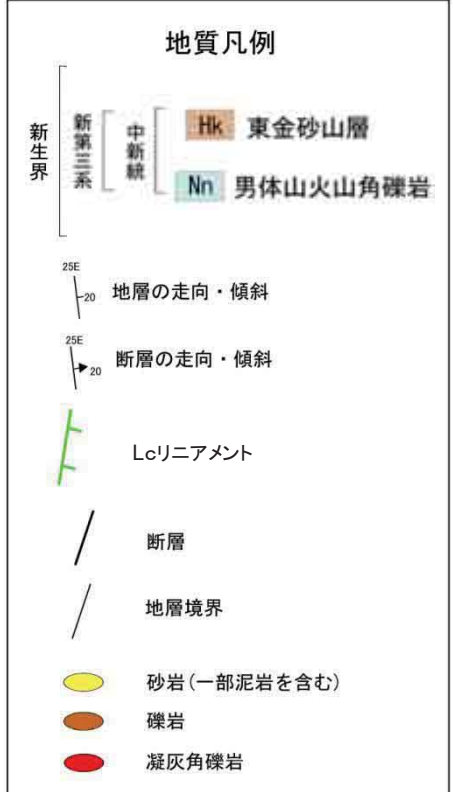
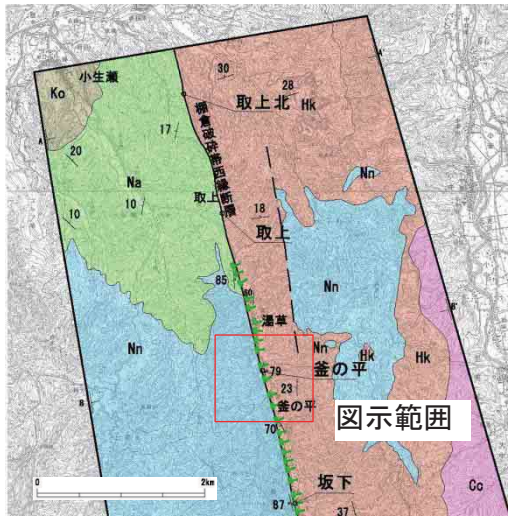
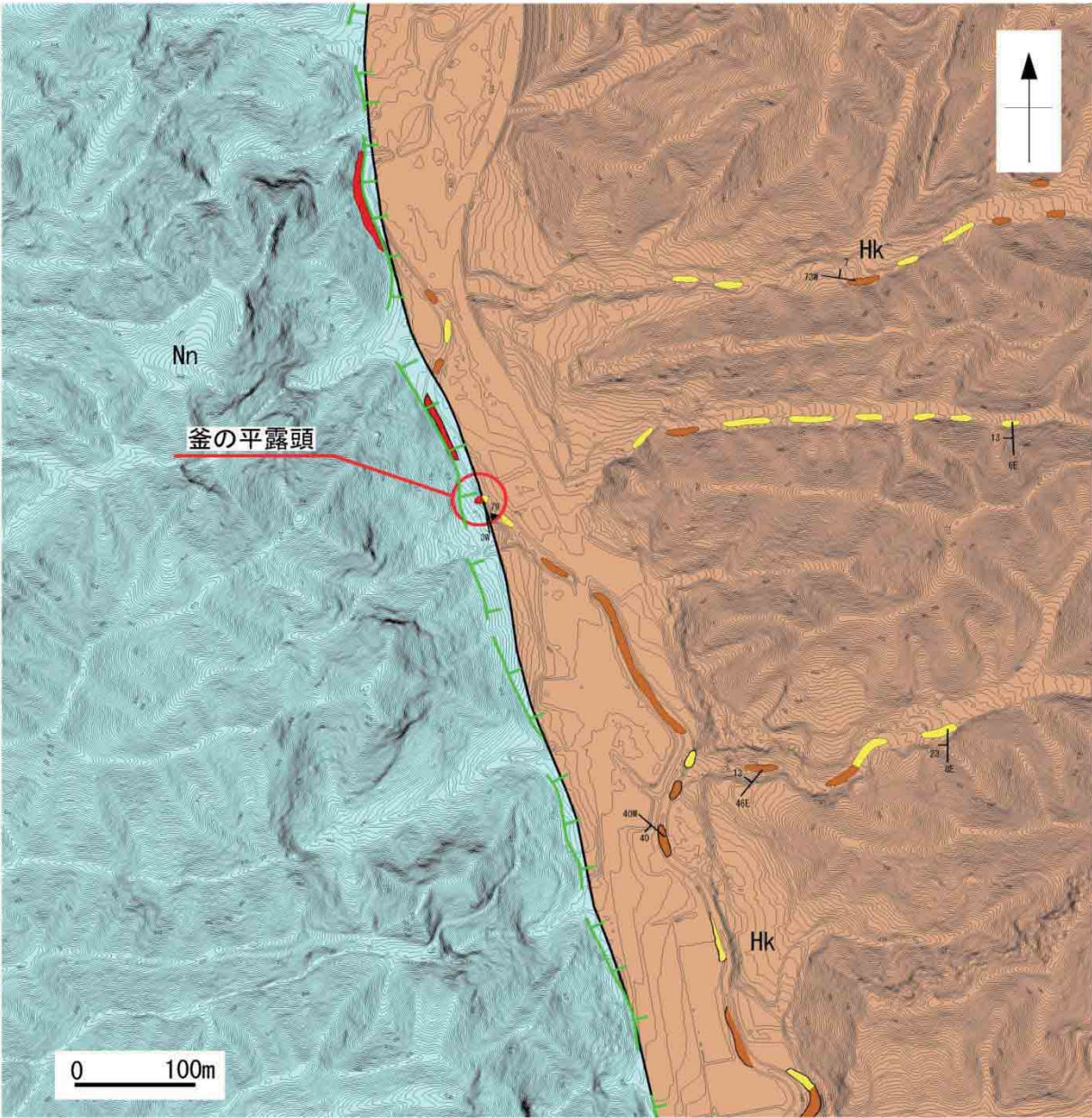
注) 沖積等の分布は省略した。

リニアメント

TTTT	L _C リニアメント
TTTT	L _D リニアメント

※短線は低い側を示す。

釜の平周辺の地質



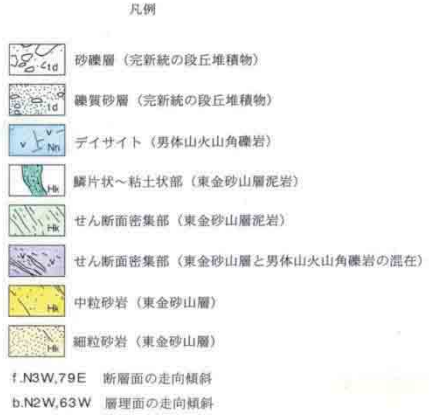
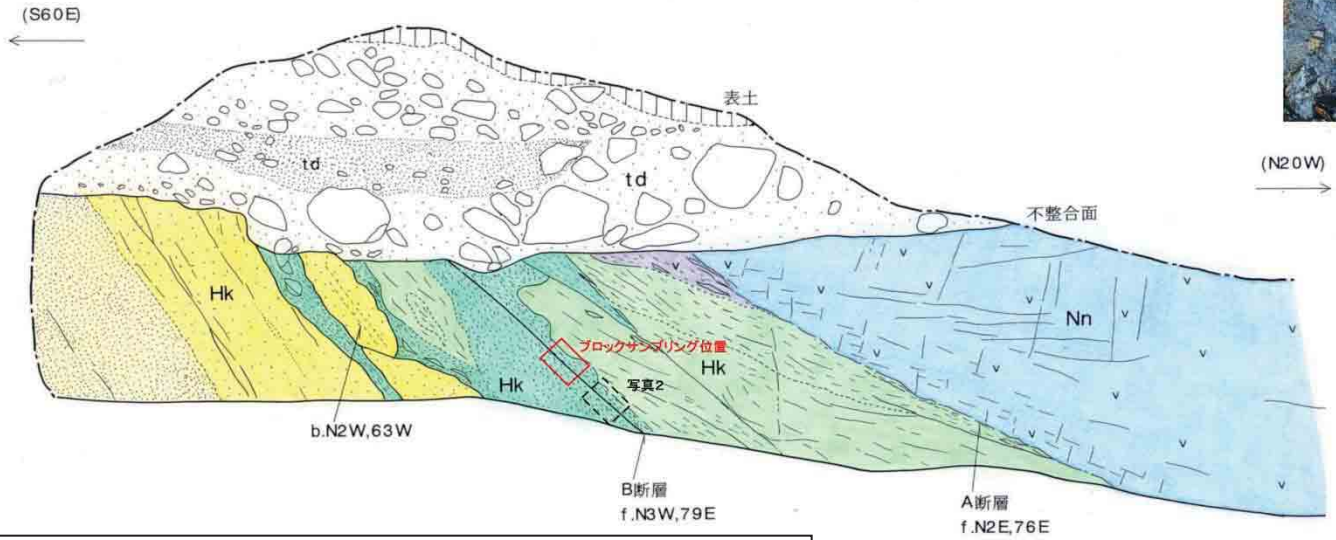
釜の平 断層露頭



写真1 露頭全景

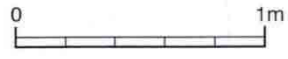


写真2 B断層拡大

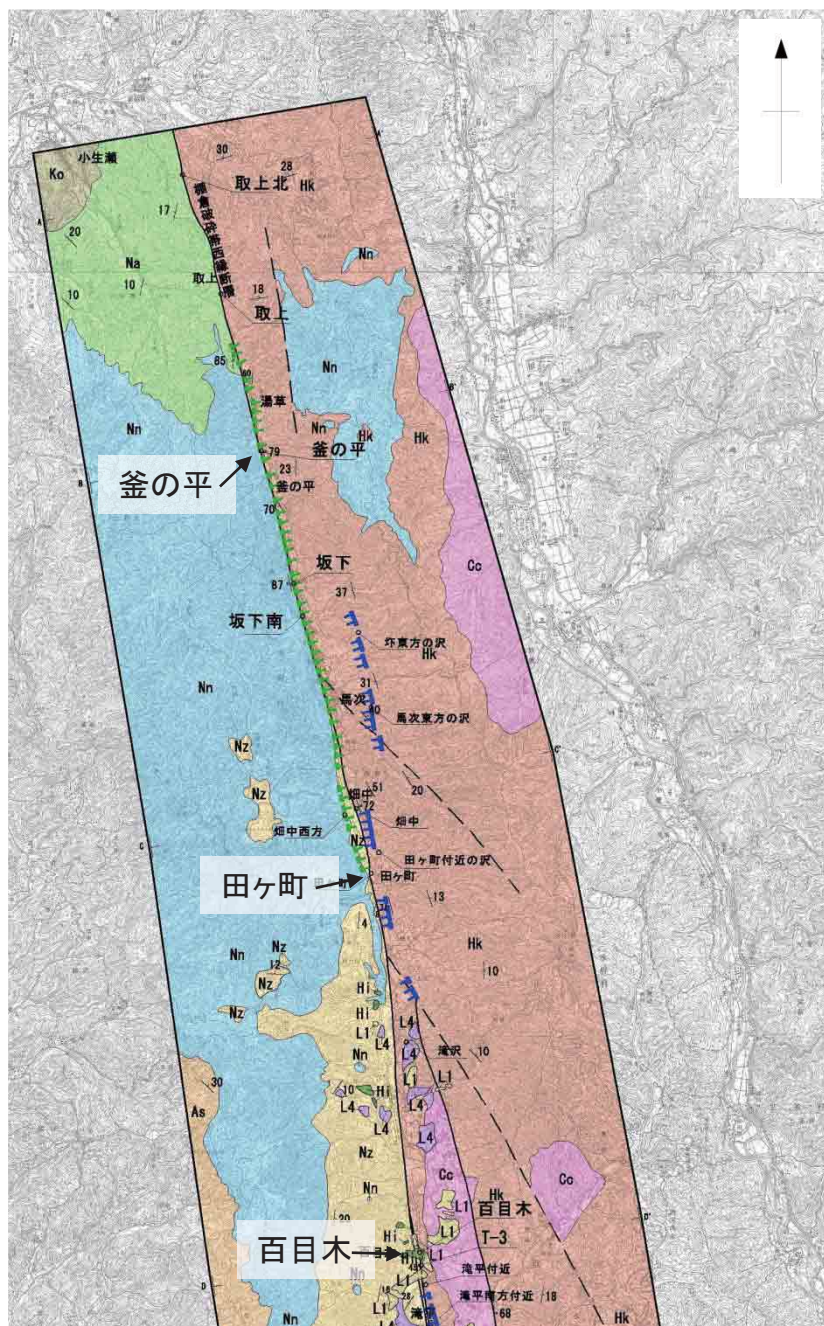


B断層:

- ・幅広いせん断面密集部～鱗片状の破碎部を切る断層。
- ・幅約0.5cmの軟質な粘土からなる。
- ・断層面は平面的で連続性が良い。
- ・レイク角12° Nの条線が認められる。
- ・非対称変形組織は、左ズレ卓越の変位センスである。



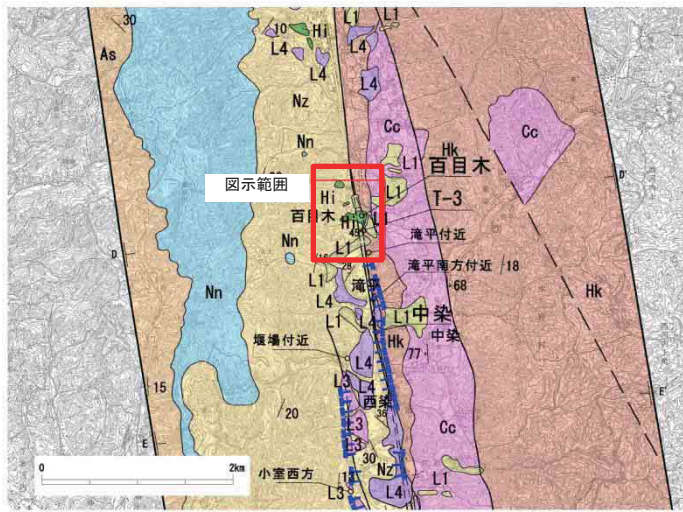
釜の平～田ヶ町における活動性評価



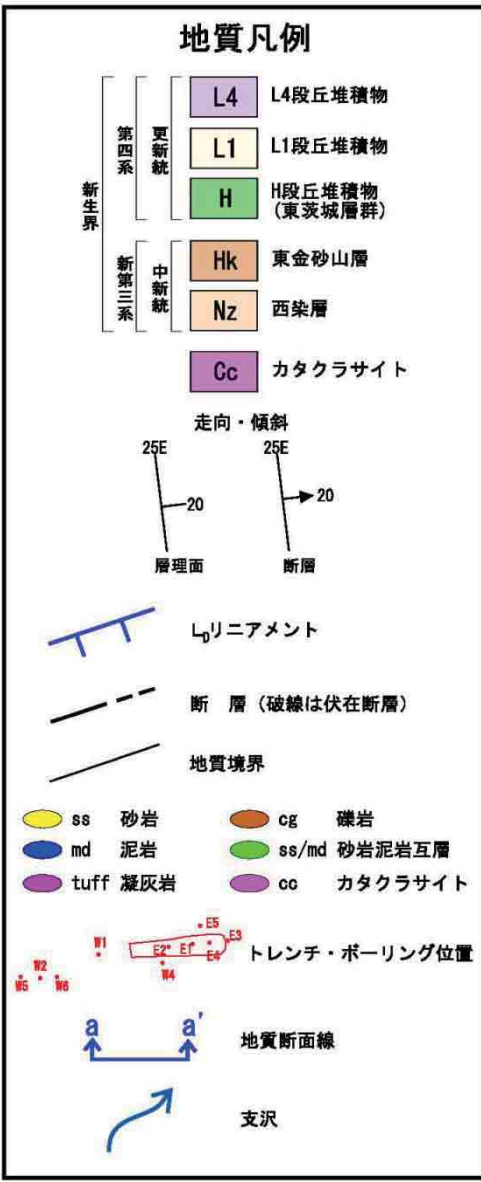
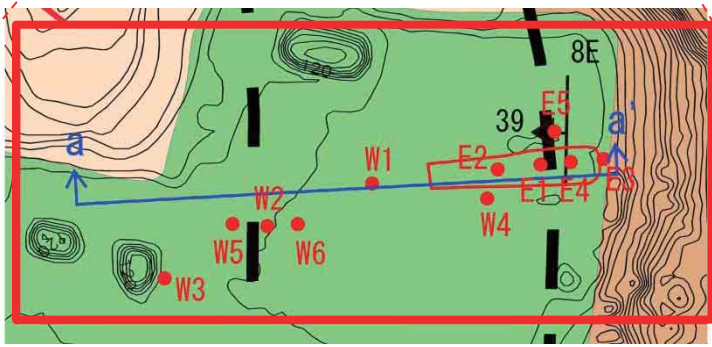
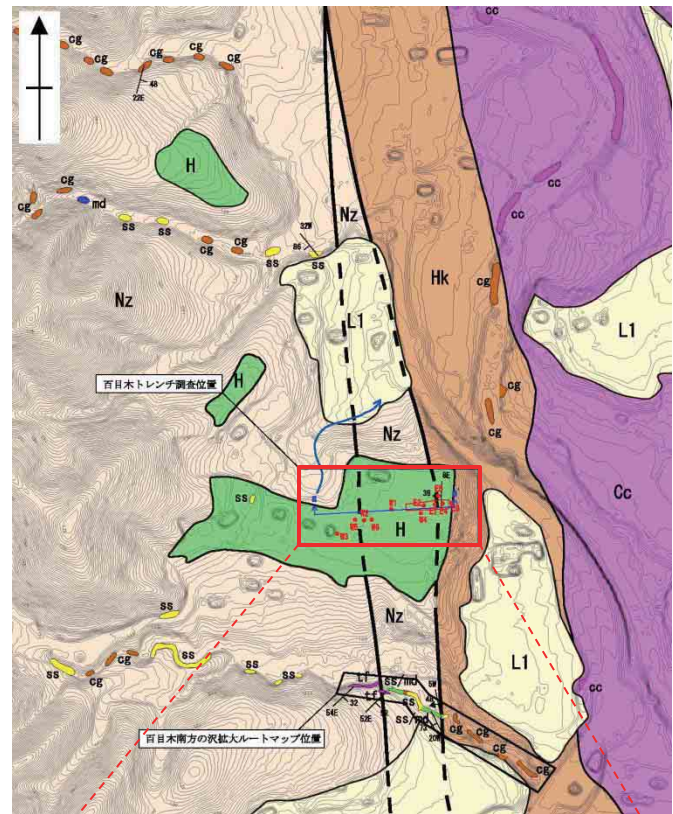
- ・釜の平～田ヶ町においては、釜の平と同性状の断層(高角度傾斜, 断層面は平面的で軟質粘土を挟在, 非対称変形組織は左ズレ卓越の変位センス)を複数地点で確認。
- ・当該区間においては、断層評価に有効な後期更新世以降の地層と断層との関係が直接評価出来ない。

上載地層との関係を把握できる百目木地点において、トレンチ調査等を実施。

百目木付近の調査位置図及び地質図



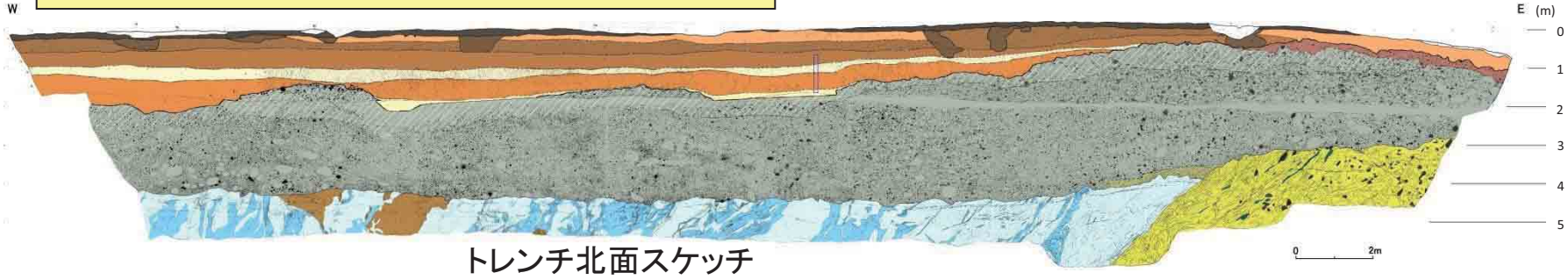
・百目木地点において、ボーリング調査及びトレンチ調査を実施し、地質・地質構造を把握。



百目木地点トレンチ調査結果

- ・東金砂層と西染層の境界に西側傾斜の断層を確認。断層面は平面的ではない。
- ・断層は、段丘堆積物に変位・変形を与えていない。
- ・段丘の形成時期については、追加で実施した火山灰分析の結果から風化火山灰層であるIV層下部にK-Tz(鬼界葛原、約9.5万)を確認したこと、また、礫層がクサリ礫となっていることから、高位段丘堆積物と判断される。

本断層は高位段丘堆積物堆積以降の活動はない。



トレンチ北面スケッチ



トレンチ北面写真

凡 例

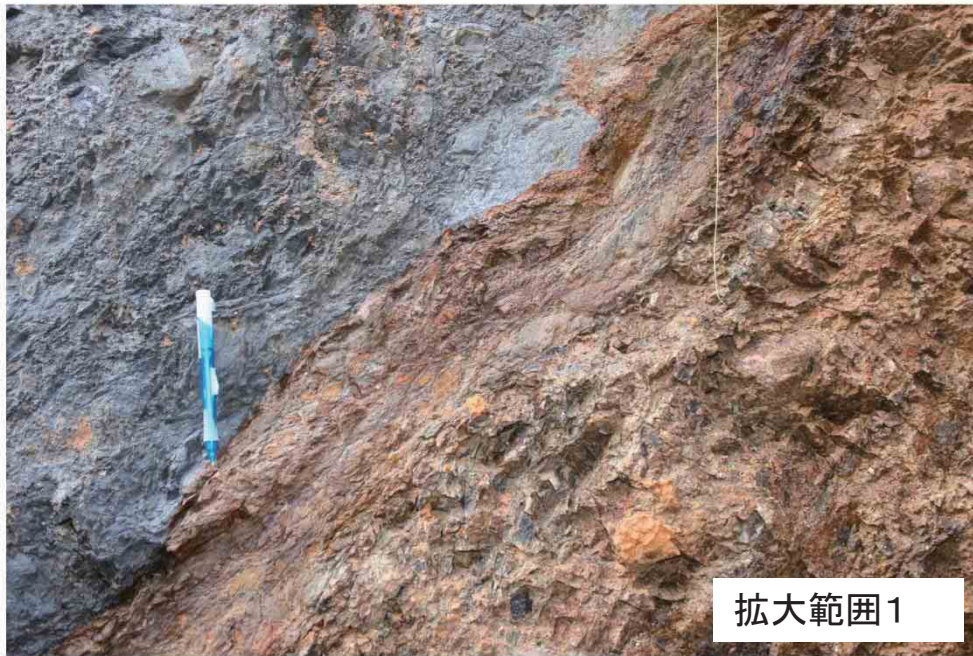
<ul style="list-style-type: none"> 盛土・埋土(掘削工事による土砂) I層(耕作土):暗褐色シルト質ローム I'層:II層起源の腐植混じりシルト質ローム II層:鈍い黄褐色シルト質ローム III層:褐色細礫~粗粒砂混じりシルト質ローム(やや粘土分を含む) IV層:黄褐色砂混じり粘土質ローム V層:灰白(~明黄褐)色砂混じり粘土質ローム VI層:明黄褐(~灰白)色砂混じり粘土質ローム VII層:灰白(~明黄褐)色砂混じり粘土質ローム 	<ul style="list-style-type: none"> 礫層(土壌化部):鈍い黄色を呈する土壌化を受けた強風化部で泥岩・花崗岩等の腐り礫を伴う 礫層(脱色部):先白亜系の腐り礫を主体とし、泥岩礫は表面が脱色して白色となり、基質も白色粘土で充填されている部分が多い 礫層:鈍い黄色を呈し、亜角~亜円の礫を主体とする。上部は泥岩礫を主体とし、下部は腐り礫を主体とするが20~30cm以上の巨礫を多く含んでいる 泥岩細礫層:径1~3cmのやや新鮮な角~亜角泥岩礫からなり、基質は白色粘土で充填されている 西染層泥質砂岩:細~中粒、泥岩と互層状、一部は泥岩中にレンズ状に狭在される。 西染層砂質泥岩:緻密で割れ目の卓越する。概ね中程度の角度で砂岩と互層を成し、境界は不規則で、一部は砂眼中にレンズ状に狭在される。 西染層礫岩:角~亜角礫の片岩が主体、砂岩・花崗岩の礫も僅かに混じる。基質は砂質泥岩。 東金砂山層:淘汰の悪い礫岩、亜円~角礫の泥岩・花崗岩・砂岩等の腐り礫主体とするが、泥質基質は礫との境界が不明瞭で偽礫状。 東金砂山層(レンズ状泥岩部):緻密硬質で割れ目の卓越する泥岩がレンズ状ないし層状に分布。
---	---

○ 比較的新鮮な礫	○ 腐り礫	■ 泥岩礫	■ 泥岩(緻密で割れ目が卓越)	■ 花崗岩礫	■ 砂質基質	□ テフラサンプリング位置
-----------	-------	-------	-----------------	--------	--------	---------------

百目木地点トレンチ調査結果（北面詳細写真）

W

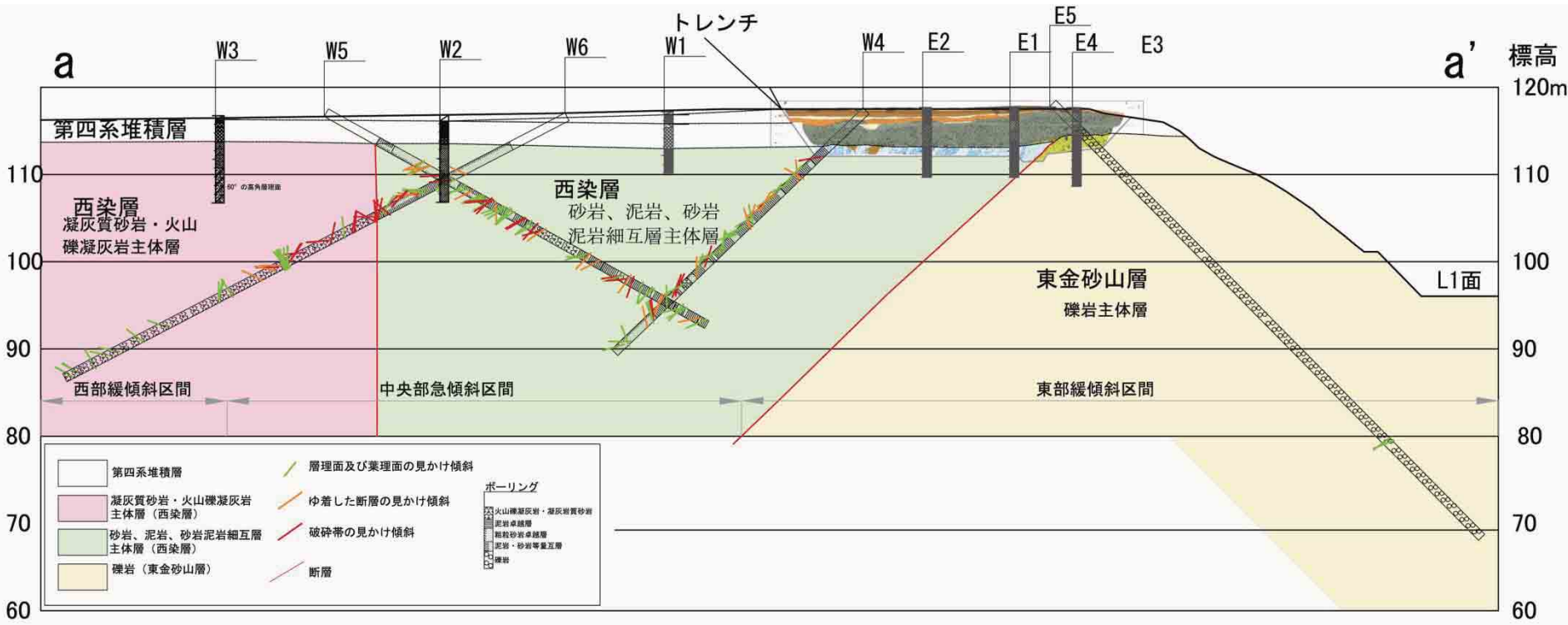
E



西染層と東金砂山層の境界

基盤岩と段丘礫層の不整合境界

百目木地点トレンチ付近の地質断面図



西部緩傾斜区間
 西染層の構造は走向NE-SWで南東へ緩傾斜を示す。

中央部急傾斜区間
 西染層の構造は急傾斜を示す。断層は確認されるものの断層面は湾曲しており、破碎部は固結している。

東部緩傾斜区間
 断層以東に分布する東金砂山層の構造は走向NNW-SSEで緩傾斜を示す。全体に硬質であり断層は認められない。

・ボーリング調査で確認された西染層中の断層を覆う段丘堆積物は、ほぼ水平に堆積している。